

令和3年度 第2回 岸和田市男女共同参画推進審議会 会議録

内容承認	白出会長 承認		
公開・非公開の別	公開	議事録の形式	要点記録
会議名	岸和田市男女共同参画推進審議会（第2回）		
日時	令和4年3月24日（木）午後2時～4時		
場所	男女共同参画センター 講座室2		
出席委員	白出会長、松田副会長、野口委員、実川委員、藤本委員、櫻井委員、根本委員（以上7名）		
欠席委員	寺内委員、奈良岡委員、殿本委員		
事務局	谷口市民環境部長、河内人権・男女共同参画課長、船津男女共同参画担当主幹、西川男女共同参画センター所長、辻村（以上5名）		
傍聴人数	なし		
次第	<p>審議事項 施策推進における課題について</p> <p>①性別記載が必要な項目の見直しについて</p> <p>②男女共同参画推進団体支援事業の見直しについて</p> <p>③「つながりサポート事業」の効果的なPRについて</p> <p>④DV相談の周知について</p> <p>⑤岸和田市男女共同参画推進審議会の運営について</p> <p>報告事項</p> <p>①事業推進の強化のための課の統合について</p> <p>②きしわだ男女共同参画推進プラン 成果指標進捗状況について</p> <p>③令和3年度事業実施状況について</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 施策推進における課題について：資料1 ・ きしわだ男女共同参画推進プラン 成果指標進捗状況：資料2 ・ 令和3年度重点目標と実績：資料3 ・ 令和3年度男女共同参画啓発事業の実績：資料4 ・ 審議会等への女性委員参画状況：資料5 ・ 令和3年度DV・デートDV予防啓発事業等の実績：資料6 ・ DV相談・女性相談の実績：資料7 ・ 令和3年度男女共同参画センター事業推進状況：資料8 ・ 岸和田市男女共同参画推進審議会委員名簿 		

< 審議概要 >

会 長 本日は、まず、施策推進における課題についてご審議をいただきまして、後半で令和3年度の事業実施状況の報告を受けたいと思います。それでは審議に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

事務局 (性別記載が必要な項目の見直しについて、配布資料の説明)

会 長 性別記載が必要な項目の見直しについてご意見、ご質問のある方はお願いいたします。

委 員 男女で差がある部分については、例えばクオータ制の導入も検討しないといけません。性別を言いたくないという方はもちろん無視されるようなことがあってはならないと思いますが、そうでない方も一律で性別の記載をしないということになれば、男女間の格差の実態を知ることが不可能になると思います。性別を書きたい人は書けばいいし書きたくない人は書かなくていいとしたらどうでしょうか。現実として男女格差があります。それを少しでもなくしていくためには、女性自身のエンパワーメントが大切ですが、同時に男性にも女性の現状について理解してもらうことが不可欠であると考えます。女性だけが変わっても男性が全く変わらず今までどおりの価値観でいると男女間の軋轢が高まるばかりで良い方向に解決していかないと思います。男女共同参画センターなので、もし、利用者が女性ばかりだとすれば男性の利用者を増やす方策を関係者には考えてもらいたいと思います。そのため参加者の性別欄を全く設けないということは私としては考えられません。

会 長 ありがとうございます。

委 員 性別を記載したくないという声があるのなら、答えたくないという選択肢があってもよいと思います。無理に記載してもらう必要もないですが、一律に性別欄を消してしまうと逆に様々なデータが見えにくくなると思います。性別をお聞きして統計を取ることを控えたいという思いに至ったのはなぜですか。「性別の記載をしたくない」というご意見があっただけなら、そういう欄を作ればいいだけではないでしょうか。

会 長 どうして「性別を記載したくない」というご意見が出たのでしょうか。

事務局 性別は男性、女性だけでなく多様です。令和元年度に男女共同参画に関する意識調査を実施したときも、性別欄は、男・女に加え、自由に記載できる欄を設けました。センターの利用時には、男女別の人数を報告していただいておりますが、性の多様性への配慮が必要であるため、男女別ではなく合計人数のみにしたいというご意見がございます。格差解消のための統計調査は必要だと思いますが、性の多様性についてもプランに盛り込みましたので、そのような観点から男女の別を記載していただくのが正しい方法なのかどうか悩むところでございまして、皆様のご意見を伺いたいと考えたところでございます。

委 員 何を目的に性別を聞いているのか、その理由があると思います。それをどのように利用するのが問題です。次のステップに結び付けるために性別が必要であれば聞かなければならないと思います。しかし、次に結び付かないのであれば聞かなくていいと思います。性別を記載したくないという意見がなぜ出ているのか？という意見が出ましたが、性別記載についての必要性について、本人が「分かっていない」と「分からしめてない」と両方があると思います。「なぜ?」「どのように扱っていくのか」ということを明確にしたうえで、今後も続けるのか、やめてもいいのかを整理して考えたらどうでしょうか。

会 長 大変貴重なご意見だと思いますので、事務局の方で、再度必要性和、統計データをどのように活用していくのかについて検討いただく必要があると思います。次の項目に進ませていただきます。

事務局 (男女共同参画推進団体支援事業の見直しについて、配布資料の説明)

会 長 岸和田女性会議補助金交付要綱に基づき、岸和田女性会議さんが事業を行うにあたり、講師謝礼、資料の作成などの費用に対して補助金を交付しています。現在、補助対象は岸和田女性会議さんだけですが、今後は、岸和田女性会議さん以外の団体にも対象を広げ、きしわだ男女共同参画推進プランに記載している内容に合致している事業に補助していきたいということです。新たな補助制度を活用していただくために効果的な周知方法についてご意見いただきたいということです。

委 員 男女共同参画推進都市宣言をしていただいて市庁舎及び公共施設の正面に大きな垂れ幕を掲げて、「男女平等を推進する事業に助成金を出します。奮ってご応募ください」と大きく書くのはどうでしょうか。また、市の広報紙の表紙にも毎回、その旨を掲載する。そうすれば周知できるのではないかと考えます。

委 員 基本的な質問ですが、岸和田女性会議補助金交付要綱というのはどんなものですか。

事務局 お渡しした資料の中に岸和田女性会議補助金交付要綱がございます。もともとは、定額補助だったものを、市全体の補助金の見直しにあたって、実施する事業に対する補助に変更しました。今後は、岸和田女性会議さんに限定せず、男女共同参画を推進する他の団体にも補助できるようにしたいと考えております。

委 員 なぜ、岸和田女性会議だけを対象にしたのですか。

事務局 補助制度は平成元年に始まったものですが、当時は男女共同参画を推進する団体は岸和田女性会議さんが中心でした。長年、岸和田の男女共同参画推進のために様々な活動をしていただき感謝しているところですが、岸和田女性会議さんの活動は成熟してきているため岸和田女性会議さんだけに補助金を交付することを見直す必要があるのではないかと考えています。

委 員 では、今後この要綱を変えるということですね。

会 長 まず、この要綱の改定を行い、改定された要綱に合致する事業を計画された団体が申し込みをされて審査を経た上で補助金を交付するのが筋ではないかと思いますが、今回の審議事項はこの要綱の内容が変わるという前提で、対象となる団体に周知する方法について聞いておられるという理解でよろしいですね。

事務局 はい。市としては要綱を改定し、広報きしわだで周知する予定ですが、それ以外の周知方法についてアイデアがあれば教えていただきたいと思います。

会 長 対象は市内の団体ですか。

事務局 補助の対象は市内で活動している団体でございます。補助の対象は、男女共同参画推進プランの111の項目の施策を推進するための事業とする予定です。一例として、父親の育児参画促進、女性が働きやすい環境づくり、起業を考えている人への支援などでございます。

委 員 今までやってこられたことは良いことですが、岸和田女性会議さん以外の団体が出てきている中で公平性を担保するのであれば、時代にあった補助金に変更することが必要では

ないかと思えます。2点意見がございます。1点目は、市内の団体に対して補助することが目的なのか、岸和田市の男女共同参画を推進するための補助金なのかを明確にする必要があります。岸和田市内での活動を盛り上げたいのであれば市内の団体に限定すればよいですし、岸和田市の男女共同参画を推進するためであれば、対象を市内の団体に限定する必要はないと思えます。もう1点は、補助対象は、きしわだ男女共同参画推進プランに合致した事業ということですが、重点的な施策に絞って実施する方が効果的だと思えます。また、「この事業に対して補助金を出す」と明確化の方が選定しやすいのではないかと思えます。

会 長 誰が選定するのかということが問題だと思えます。もし、選定手続きを人権・男女共同参画課でするということであれば、非常に労力が必要になるので、今の体制のままでできるのかということも考えなければならないと思えます。貴重なご意見をいただきましたので、補助金の目的を「プラン推進」に重きを置くのか「市内の団体育成」に重きを置くのかをよくご検討ください。それによっても手法が変わってくると思えます。

委 員 選定には公平性を担保することが必須なので、その点から手続きをどうするかを考えて欲しいです。選定委員会を設置するという方法もあると思えます。

会 長 では、3点目に移らせていただきたいと思えます。

事務局 （「つながりサポート事業」の効果的なPRについて、配布資料の説明）

会 長 「つながりサポート事業」の効果的なPRについてご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

委 員 私は公共施設によく行きます。いろんな場所にチラシを置くのは効果があるのではないかと思えます。

委 員 「今後、民生委員のみなさまなど地域で活動される方に」とありますが、皆様、自分が住んでいる町の民生委員をご存知でしょうか。知らない方がほとんどです。それよりも町会連合会にPRしたり、回覧板で周知することが重要だと思えます。私は「つながりサポート」という言葉を知りません。資料をいただいてから広報きしわだを遡って見たのですが見つけられませんでした。記事が小さかったのかもしれませんが。要するに「つながりサポート」に関する情報が少ないと思えます。「つながりサポート」という言葉が何回も広報きしわだや町会連合会などで出てきたら記憶に残りますが、単発では、それで終わってしまいます。詳しい説明を何度も繰り返すのは逆効果だと思えますが、PRしたいのであれば「つながりサポート」という言葉をチラシや広報で何度も繰り返し伝える必要があると思えます。

事務局 広報きしわだ11月号では、「女性の『駆け込みスペース』を開設」というタイトルにしておりました。本文は「DVや家事、育児、仕事の悩みを抱え込んでいませんか？面談や電話、出張でNPO法人ここからkitが相談を受け付けます。」として、日時・場所などを書いていました。「つながりサポート」という言葉はありませんでしたので、お気づきになられなかったのは当然かと思えます。反省しております。

委 員 「つながりサポート」という言葉はどこかからの引用ですか？

事務局 女性活躍推進交付金という国の補助金制度があります。その中にいくつかメニューがあり、居場所の提供、相談事業は「つながりサポート型事業」という名称になっているた

め、「つながりサポート」という言葉を使っております。

委員 広報というのは全庁的な問題ですが、市は広報についてどういう方向性をもっておられるのでしょうか。

事務局 インターネットが普及しても広報を見て申込みされたという方がまだまだたくさんおられます。広報で情報発信をしていくことは重要だと考えます。「つながりサポート」の利用者が本事業を知ったきっかけは、公民館でチラシを見た、子どもが学校でもらったチラシを見た、広報きしわだを見たということが多くNPOの方から聞いております。

委員 子どもがチラシを持って帰って家族が知るとのことですね。大学での話ですが、文字が多いと学生は読みません。そのため、QRコードでアクセスしてもらっています。カードやチラシにQRコードをつけられるのかを検討してみてもどうでしょうか。

会長 今後の周知方法としては、ネットを活用することが重要だと思います、自らアクセスすれば情報が表示され、その中から自分が得たい情報を選んで見ることができます。検討されればよいのではないかと思います。

委員 これは単年度の事業ですか。

事務局 来年度もこの事業は継続して実施します。

委員 私は、他市でつながりサポート事業の選定委員をしていましたが、そこは8桁の予算がありコンペを実施しました。岸和田市の予算とは大きな差があります。市によって金額が異なる理由は何でしょうか。

事務局 実施する事業の差です。

委員 市だけで考えるのではなく、NPOや民生委員、関係機関と一緒にもっと大きな絵を描いてはどうでしょうか。生理の貧困対策として始まった事業ですので、生理用品を学校や公共施設に置いて、そこから相談につなげていくというのはどうでしょうか。行政はこれまでしんどい人、困っている人に来てもらっていましたが、実際にしんどい人、困っている人は来る力がありません。特にコロナ禍では、そういう人をいかに見つけ、働きかけていくかが大切な視点だと思います。困難を抱える人を見つけること、そして働きかけていくこと、その枠組みを両輪で考えていく必要があります。予算は少ないがチーム岸和田の枠組みを作って取り組んでいくことが大切だと思います。

委員 来年度の予算は、いくらですか。

事務局 約150万円です。

委員 その150万円で何ができるのか、焦点を絞って事業を実施してください。

会長 スーパーやドラッグストアなど、公共施設以外にQRコード付きのチラシを置いてもらうことも効果的だと思います。では、4点目、DV相談について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (DV相談の周知について、配布資料の説明)

会長 ご説明がありましたように、DV相談窓口の小さいカードを公共施設等に置いていますが、そこには電話番号のみ記載しています。加害者に知られないようにという配慮で相談場所は記載していません。しかし利用する側から見た場合、相談窓口がどこにあるのか分からないことが相談を決意するハードルになっているのではないかと思います。皆様のご意見を聞かせていただけたらということです。皆様このカードをご覧になられてどのよ

うに思われますか。

委員 私は、電話番号だけが書かれている方がアクセスしやすいと思います。カードを女性トイレに設置するなど、女性への周知に重点が置かれていますが、男性への周知も必要だと思います。

会長 皆様のご協力で女性への周知はできてきました。一方、男性への周知方法として何か考えておられたでしょうか。

事務局 お配りしているA4のチラシは、男女共同参画センターで実施している相談事業の一覧ですが、法律相談とDV相談は男性にもご利用いただけます。面接相談と電話相談は女性限定ですが、大阪府で実施している男性相談を周知して男性が孤立しないようにしていきたいと思っています。

委員長 堺市ではDV相談は3カ月待ちだと聞いています。相談の実施場所を記載しています。男性相談も実施しています。チラシやカードには場所も記載した方がイメージしやすいのではないのでしょうか。こちらQRコードをつけたらどうでしょうか。DV相談は委託しているのですか。

事務局 DV相談は職員が対応しています。

委員 周知も含めて専門家に委託を検討してはどうでしょうか。

会長 チラシの色をみただけで「女性向け」と思ってしまう可能性があるのも、まず、色の設定から考えていただくこと、そして男性用のトイレにも置くなどしていただきたいと思います。次は5点目ですが、これについては、先に報告事項の説明をしていただいてからご意見をいただきたいと思います。推進プランに関する各課の取組について我々がどのように関与していくかは常に悩ましいところです。まず報告事項について説明をお願いします。

事務局 (配布資料2～8の説明)

会長 令和3年度の事業実施状況について報告いただきました。委員の皆様のご意見をふまえて各課で取組をしていただいておりますが、年2回の審議会で、どのような形で実施状況を見せていただいて、委員の皆様にご意見を聞かせていただくか悩ましい問題でございます。ここで、資料1の5点目に戻らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

事務局 (岸和田市男女共同参画推進審議会の運営について、配布資料の説明)

会長 これまで、第1回目の審議会が7月から8月に開催され、前年度の実施状況の報告と、その年度の各課の実施計画の報告をいただいております。2月頃に開催される第2回目の審議会では、その年度の実施状況を報告していただいております。ただし、年度の途中での報告のため、次年度の第1回目で改めて実施状況を報告していただいております。計画を作成した時点で我々が意見を言う機会があり、その意見を元に計画に修正を加えて実施していただくか、実施状況の結果に対して意見を述べさせていただいて、意見を反映した次の計画を立てていただくというのが良いのでしょうか、そうできないのが現状です。委員の皆様も、我々の意見が事業の実施にどのように反映されているのだろうかと思われるのではないのでしょうか。より良い審議会の在り方について、ご意見を頂戴できたらと思います。

委員 いつもお伝えしていることですが、様々な課の担当者に審議会に来ていただきたいと思

います。

委員 各課の担当の方に来ていただくのは大賛成です。ただ、その前に私たちが論点整理をしておく必要があります。

委員 男性の育休の取得推進のために上司から声掛けをしていかなければいけません。男性職員に対してどのような働きかけをしているのかも知りたいです。課によって取組方法が違うのであれば、お互いに参考になるでしょうし、統一した取組ができます。私たちもそこから市の取組を知ることができますし、市内の事業所につなげることができるのではないかと思います。

委員 私もこの男女共同参画推進審議会では、毎回報告を受けているだけの感じがします。実際、この審議会の意見がどのように反映されているのか常に疑問がありました。年に2回、夏と2月から3月に開催していますが、年度末は皆様お忙しいと思うので、時期を見直す必要があると思います。各課の所属長や実務担当者に来ていただいて、具体的な意見を聞きたいです。年度初めの審議会で今年はどういう方向で進めていくのか尋ねさせていただいて、年明けに今年状況報告をしていただき、翌年の年度初めに前年度の報告をしていただくというのが動きやすいのではないかと思います。

委員 各課の職員に来ていただくのは良いと思いますが、各課の職員の皆様も仕事があるため調整が難しいと思います。

委員 男女共同参画は遅々として進んでいないと感じます。先ほど言われたように担当者の本音が聞きたいですが、なかなかそれが聞けません。聞けないにしても、ご意見などを書いていただく方法もあると思います。

委員 この審議会は、男女共同参画をどのように推進するかを考える場ですので、各課の職員は忙しいからという発想は違うと思います。私は各課の職員の生の声を聞きたいです。私は市民を代表して来ていますし、学識経験者もいます。市民・学識経験者・職員みんなで男女共同参画を推進するための会議です。職員も忙しいでしょうが、委員の皆様も忙しい中で出席しています。

委員 審議会として場を設けて、各課のご意見や本音を伺えたらよいと思います。男女共同参画に対する考え方や必要性は人それぞれ違いますので、お話を聞けたら少しずつ全体が変わるきっかけになると思います。今までと違ったやり方を取り入れると変わるのかなと思います。

委員 こちらから出向いて行ってもいいですよ。

委員 計画を立てる時に人権・男女共同参画課が各課にヒアリングをしたいと思います。ヒアリング内容が文字になると、同じような内容になることがしばしばあります。生の声を聴くことが大切だと思います。担当者に限らず課長でもいいと思います。権限がある方においていただく方がいいのかなと思います。

事務局 審議会での意見をどのように反映させるかについての事務局の案ですが、例えば、令和4年度の1回目の審議会では、令和3年度の各課の事業実施報告を行い、それに対してご意見をいただきます。ただし、その時点では令和4年度が既に始まっておりますので、委員からご指摘いただいた事項は翌年度の令和5年度の実施計画に反映させます。第2回目の審議会は、今より早い時期に開催し、当課の事業報告をさせていただき、翌令和5年度

の当課の実施計画に反映させていただくということを考えています。

会 長 全課の取組をまとめたものをデータとしてご提供いただくのはすごく時間がかかりますので、2回目に当該年度の報告をいただくのはなかなか難しいですね。実施計画の実績報告では、結果プラス自己評価をしていただくことをお願いしておりますので、第1回目は、前年度の結果プラス自己評価を踏まえて今年度はこういった取組をするとご報告いただくと、前進しているのか現状維持なのかを我々は見せていただくことができます。そしてそれに対して意見を述べさせていただくことができるのではないかと思います。最後に何かご意見ありませんか。

委 員 各課の前年度の実施状況について、各課で点検と評価を行い、私たちが尋ねて足りない部分などを言える機会にするのは大賛成です。

会 長 それぞれに十分なお準備が必要だと思いますが、委員の皆様はそれぞれに思いを持って審議会にご出席くださっていますので、より成果の得られる会議にするためには、やはりこういった取組が必要になってくるのではないかと思います。

委 員 職員の生の声をこの審議会で聴きたいという要望について、事務局はどう思われますか。

事務局 その内容によると思います。各課が男女共同参画の視点をもって各課の事業の中でやっていけること、それぞれ関連ある仕事の中でその視点を取り入れられることは各課すべきことだと思います。例えば、岸和田市役所内の管理職の女性比率を高めることは人事課の仕事です。しかし、市民の男女共同参画に対する意識や事業者への取組など、市全体の男女共同参画の推進については、人権・男女共同参画課が取り組むべきものだと思います。市民への啓発については、関連する課もたくさんありますが、どこが行うべきものなのかの整理が必要だと思います。市民や事業者への取組について各課を呼んで意見を聞くのは視点がずれてしまう可能性があるので、そのあたりは内容によるのではないかと思います。

委 員 男女共同参画推進プランの数字のところを見ているので、例えば、教育委員会など、そこに関わる課に意見を伺うのが良いかと思います。

事務局 教育委員会は、学校教育の中で子どもに対する教育が業務ですので、どのように男女共同参画の視点をもって事業を行っているか尋ねるのは意味が分かります。

委 員 市役所に関係のある方々を呼び出して意見交換する方向の話ですが、課長級、部長級など、いろんな方がいらっしゃいますが、旗振り役に聞くのが良いと思います。「この数字はちょっといかんから考えてください」と言いやすい。そもそも旗振り役がその気にならないと実務部隊は動かないと思います。

会 長 ありがとうございます。いろいろなお意見を頂戴しましたので、事務局の方でさらに検討していただいて、次の課題として提出していただきたいと思います。